

2015（平成 27）年度

日本英文学会九州支部 第 2 回編集委員会

日 時：2015（平成 27）年 10 月 24 日（土） 午前 10 時～10 時 45 分

場 所：佐賀大学 本庄キャンパス 教養教育 1 号館一階、会議室

議事：

1. 『九州英文学研究』第 31 号（支部統合号 Vol. VII）の刊行について

『九州英文学研究』第 31 号が 2015 年 1 月 20 日に刊行され、イギリス文学 4 編、アメリカ文学 3 編、英語学 2 編計 9 編の論文（内、奨励賞受賞論文 1 編（イギリス文学）、懇憑論文 4 編（イギリス文学 2 編、アメリカ文学 1 編、英語学 1 編）を含み、英語論文 2 編、日本語論文 7 編）が掲載されたことが報告された。

2. 『九州英文学研究』第 32 号（支部統合号 Vol. VIII）について

『九州英文学研究』第 32 号には、英文学 9 編、米文学 6 編の計 15 編の投稿があり、イギリス文学 2 編、アメリカ文学 2 編の掲載決定が承認された。そのうちイギリス文学の 1 編が優秀論文賞に選出されたことが報告された。当該論文は、昨年度の大会で招待発表を行ったものに基づくものであるが、一般論文として応募されたものである。また、懇憑論文の投稿はなかった。

3. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について

九州工業大学教授、虹林慶氏の *Creating One's Own Inner Sun: Existential Poetics in Swinburne's Seascape Poems* に優秀論文賞を授賞することが決定された。今回は奨励賞の該当はなかった。

4. 投稿論文の投稿方法と枚数制限、その他について

第 1 回委員会での承認に基づき、論文の長さに関して、論文投稿規定の改正が報告、確認された。その後、投稿形式について審議がなされ、協議の結果、投稿の方法を以下のように修正することとなり、承認された。

「原稿・アブストラクト・表紙・カバーレターをワードファイル形式(.doc あるいは.docx) 及び PDF ファイル形式(.pdf)で別々に作成・保存し、ファイルを E メールで事務局に送信する。」

また、註のつけ方に関して審議がなされ、従来は原稿の末尾に註を付けるとなっているが、事務負担軽減のため、論文の採用決定後に、著者に対し、ページごとの脚注に変更を依頼することとし、承認された。

さらに、図版の著作権に関して、委員より意見が出されたが、協議の結果、書面としては記載せず、論文採用決定時に著者に確認することとなった。

5. 委員の交代について

村里委員から辞任の申し出があり、後任として虹林慶氏の委員選任が了承された。また、太田委員より、編集委員の辞退の申し入れがあり、後任に関しては太田委員が、候補者を選出し、当該候補者に打診後、事務局がメール会議にて協議を重ね、その結果を報告することで承認された。また、任期に関しては事務局で確認することとされた。

6. 大会「招待発表者」について

今回は、英文学（太田一昭氏、井石哲也氏）、米文学（喜納育江氏）、英語学（村尾治彦氏）の4名の招待発表をお願いした。来年度も招待発表者を依頼することが確認された。また、招待発表者の発表内容に基づき『九州英文学研究』への投稿の懇請依頼を判断することとし、依頼する場合は、各部門の編集委員長・副委員長からお願いすることとなった。懇請論文投稿の打診を受けた執筆者でも、一般論文として応募したい場合は、一般論文として審査を受けることができるということがあらためて確認された。

7. 支部大会統合プロシーディングズについて

今年度のプロシーディングスは2015年9月15日に刊行され、九州支部は42ページとなり、中部支部の48ページに次ぐ枚数であり、統合号全体に対する枚数比率としては大きいことが報告されたが、今後も例年通りの方法を踏襲することが承認された。また、プロシーディングス編集に関して担当書記より、投稿者へ以下の点を周知する必要性が報告された。

1. 投稿規定の遵守を促すこと。
2. シンポジウム代表責任者への通知を徹底すること。
3. メールアドレスの変更がある場合の連絡通知を徹底すること。
4. 校正修正に関する通知を徹底すること。

====出席者 15名（敬称略、五十音順）====

鵜飼 信光（英文学・編集委員長）	小谷 耕二（米文学・編集副委員長）
太田 一昭（英文学）	高野 泰志（米文学）
木原 謙一（英文学）	高橋 勤（米文学）
小林 潤司（英文学）	竹内 勝徳（米文学）
宮原 一成（英文学）	早瀬 博範（米文学）
村里 好俊（英文学）	

登田 龍彦 (英語学)
西岡 宣明 (英語学・支部長)
向井 毅 (英語学)
山田 英二 (英語学・編集副委員長)

2015（平成 27）年度

日本英文学会九州支部 評議員会・理事会

日 時：2015（平成 27）年 10 月 24 日（土） 午前 10 時 45 分～12 時 10 分

場 所：佐賀大学 本庄キャンパス 教養教育 1 号館一階、会議室

議事：

1. 活動報告

高野事務局長より今年度の活動に関して支部大会、『九州英文学研究』の刊行、大会 **proceedings** の刊行を例年通り行う旨の報告がなされた。また、西岡支部長より今年度支部大会の発表件数に関して報告があり、研究発表 21 件中 1 件キャンセルがあり、支部大会の研究発表は 20 件となった旨の報告があった。

2. 会計報告

- ・高野事務局長より、別紙の通り平成26 年度（平成26 年4 月1 日～平成27 年3 月31 日）支部会計報告が行われ、監査の太田一昭理事（九州大学教授）から確認の報告があり、承認された。
- ・今年度会計の中間報告、ならびに来年度支部予算案が、高野事務局長より別紙に基づき報告承認された。

3. 統合号出版経費負担について

- (1) プロシーディングス分担金 ￥101,243 （中部支部に次ぐ分量と費用）
- (2) 支部大会統合後分担金 ￥ 6,036
- (3) 英文学研究支部統合版第 8 号 未定 （第 7 号は¥322,156）

であることが高野事務局長より報告された。

4. 編集委員会報告

- ・鶴飼編集委員長より、『九州英文学研究』第 31、32 号掲載論文に関する報告がなされた。（編集委員会議事録 1、2 参照）
- ・論文投稿規定に関して、鶴飼編集委員長より、変更点の報告がなされた。（編集委員会議事録 4 参照）

また、紙媒体の投稿は削除されたため、新投稿規定第 4 条の、「消印」の文言を削除したほうが良いとの指摘があり、変更することが承認された。新投稿規定第 7 条記載の、「植字上の」という表現に関しての指摘があり、事務局で協議の上、必要に応じて修正することとなった。（改訂版については HP 参照）

- ・学会賞について

学会賞（優秀論文賞）に九州工業大学教授、虹林慶氏の “Creating One’s Own Inner Sun: Existential Poetics in Swinburne’s Seascape Poems” が選出された。奨励賞の該当はなかった。学会賞の英語表記に関しては、優秀論文賞を *The Kyushu Studies in English Literature* (KSEL) Distinguished Paper Award とし、奨励賞を *The Kyushu Studies in English Literature* (KSEL) Young Scholar Award とすることに決定した。

5. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について
全国大会は、5月28日（土）、29日（日）に京都大学、支部大会は、10月22日（土）、23日（日）に中村学園大学で開催される。

====出席者 29 名（敬称略、五十音順）====

《評議員》

井石 哲也
江口 巧
木原 謙一
木原 誠
國崎 倫
雲 和子
古賀元章
虹林 慶
山根 一文

《理事》

鵜飼 信光（編集委員長）
大島 由紀子
太田 一昭
木下 善貞
小林 潤司
高野 泰志（事務局長）
高橋 勤
竹内 勝徳
登田 龍彦
西岡 宣明（支部長）
早瀬 博範
向井 毅
山田 英二
村里 好俊

《事務局》

田中 公介
團迫 雅彦
黒木 隆善
大塚 知昇

《編集委員》

小谷 耕二
宮原 一成